

文書番号 DTC-001	標題 DTCを含んだ設計作業全体管理のフロー	承認	点検	作成
		合意コスト・コントロール担当		

### 1. 管理方針

- (1) 開発関連項目をもれなくWBS表にまとめVISIBILITYのよい管理をVISIBILITY ROOMを中心に  
行なう。
- (2) 各レベル（個人、グループ、班、チーム）の作業を設定し、階層構造的管理を行なう。
- (3) 課題および問題提起、スケジュールフォローは各班の自主管理を主体とするがチーム全体への  
インパクトがある場合は設計会議を中心に課題および問題の早期解決を図る。

### 2. 開発／設計WBSによる管理方式の意義

- (1) 開発／設計WBSとは開発する〇〇システムプロジェクト全体を定義すると共に開発に必要な  
全作業項目を網羅し、その相互間の関係を示す項目構成表である。  
このWBSを開発作業の作業もれおよび後もどり作業、ダブル作業等無駄作業の根絶と管理の道  
具として用いる。  
これにより、情報の一元化、および報告システムの確実な遂行、責任部署の明確化をする。
- (2) 開発／設計WBSにはMIL-STD-881A（親子型）のWBSとPWD型のWBSがあるので、それら  
の特徴を組合せ利用する。

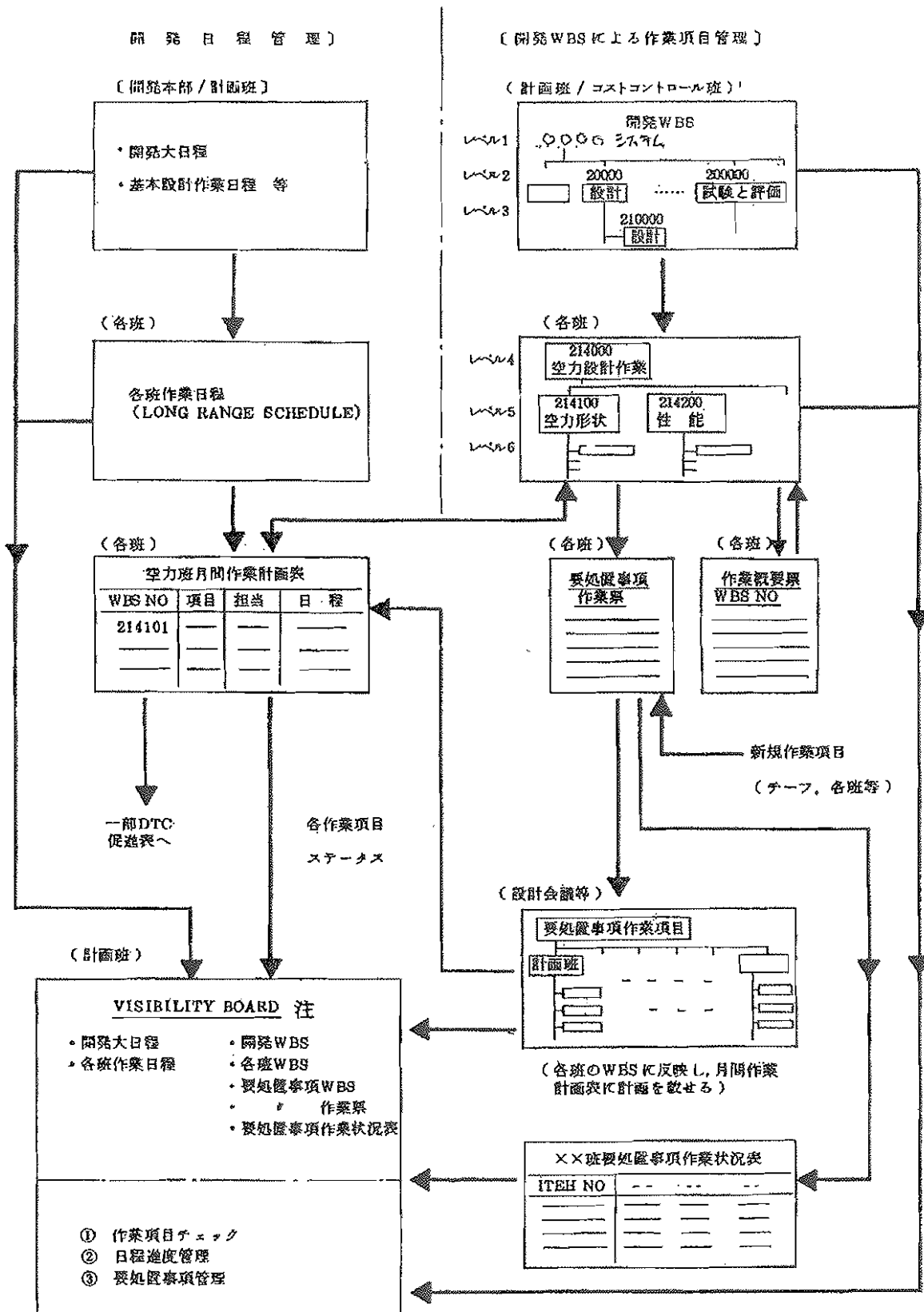
### 3. 管理実施との前提条件

- (1) 班内レベルの開発／設計WBSの展開および作業ステータスの報告は各班長が責任を負うもの  
とする。
- (2) 各班の作業および検討項目はWBSで管理する。これにより情報の伝達の整合性を図る。従っ  
て、計画表、作業概要票、要処理事項作業票等の書式を統一する。
- (3) 各作業項目の一部（コストコントロール上重要なもの）はDTCトレードスタディ促進票を作成  
し管理する。

### 4. 管理の手順（次頁に管理フローの全体を示す）

- (1) 開発WBS区分に従い、各班毎のWBS展開を行なう。
- (2) 各班は各作業毎の作業概要票および月間作業計画表を作成しフォローする。
- (3) 他班は影響を及ぼす問題点、自班内でも作業日程に大きな変更のあるもの等および新規処置事  
項は要処置事項作業表にまとめ調整すると共に作業を展開し、各班に作業割付を行う。
- (4) 個々の作業進行を考慮し、全体日程表およびWBSにステータス記入管理する。

DTCを含んだ設計作業全体の管理フロー



注；VISIBILITY BOARDとはVISIBILITY ROOM/会議室に設け、誰でもが見ることができ、そのうえでディスカッションのできる掲示板のことをいう。